

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	火災現場で消火活動中、煙に巻かれた事例
3. 体験した事例の中心的要素	木造2階建ての住宅で2階より白煙が噴出していた。1階及び2階への階段にはまだ煙は無かった。小隊長より2階へホース延長、進入するよう指示があったため、隊員2名で進入した。呼吸器は装着していたが面体を着けずに階段を上った。また、誘導ロープも無かった。階段を4, 5段上がった所で2階から1階へと急激に白煙が下がってきて視界が無くなり、呼吸もできないほど苦しくなったが、幸い階段から玄関まで直線で距離も約5mと近かったため脱出できた。
4. 体験した事例の原因・理由	火災がまだ初期～中期だと思い、今なら焼損を最小限にできると思い、焦って屋内進入をした。その際、面体の装着を怠った。また、玄関から階段までの距離も近く、筒先及びホースもあったので、容易に退出出来ると考えていた。更に考えられる危険を予測できなかった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成24年1月24日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	雪
3. 発生した活動現場	屋内：木造2階建て住宅の1階から2階へ上がる階段。
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	退路の消失、寸断
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[木造建物]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	進入・退出
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が踊いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

ヒヤリハット発生状況図

